

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 南アルプス市立芦安中学校  
 種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )  
 住所 〒400-0242  
山梨県南アルプス市芦安安通350番地  
 E-mail : [ashiyasu.jhs@m-alps.ed.jp](mailto:ashiyasu.jhs@m-alps.ed.jp)  
 Website : \_\_\_\_\_  
 児童生徒数：男子 6 名 女子 14 名 合計 20 名  
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

### 1. はじめに

本校は平成23年度にユネスコスクールに登録し、ユネスコの理念を実現すべく、環境を中心とした取り組みを行っている。具体的には、学校林への植樹、夜叉神峠の清掃活動と巣箱や自然愛護看板設置、そして全校登山である。

学校林の植樹は、桜の苗木を毎年学校から40分ほど歩いた場所にある学校林に植える活動である。苗木についてはシカの食害等が顕著であったが、近年苗木に防護カバーを取り付けていることで、多くが食害を逃れている。

夜叉神峠の清掃活動は、毎年登山前に実施している。グループごとに分かれて、登山道のゴミ拾いや環境啓発看板の設置、そして巣箱を取り付けている。生徒数が限られている中ではあるが、登山口にある小屋も掃除し、登山客が気持ちよく登山してもらえるように活動している。

加えて、後述する全校登山を毎年実施している。全校登山は、本校が自然体験活動を重視していることを特色づける大きな柱となっている取り組みである。本校の自然と環境への取り組みは、ユネスコスクールに登録する前から行っていることではあるが、登録によりさらに多くの方々に本校の活動を発信すべく、ホームページなどで積極的に自然環境を啓発する活動を行っている。本校の活動の柱である全校登山を中心に、今回はレポートをまとめたいと考える。

### 2. 主な活動

#### (1) 全校登山

##### ①全校登山の概要

本校の全校登山は、1977年に創立30周年の記念行事として始まった。1992年からは北岳・仙丈ヶ岳・鳳凰三山の三つの山をローテーションで登っている。これらの山々はいずれも南アルプス市芦安地区（旧芦安村）にあり、本校生徒には中学校生活三年間の全校登山で、日本有数の山が私たちのふるさとにあるという誇りを持ってもらいたいという願いもこの登山には含まれている。

また、2008年からは毎年テーマを設けて登山学習を行っている。ここ数年、山ごとにテーマが定まっている。具体的には、北岳は「自然環境について」、仙丈ヶ岳は「写真などを使った自己表現」、そして鳳凰三山は「歴史や文化について」である。これらの学習には、地域の登山に詳しい方々や、環境省や南アルプス市役所などから専門家の方々を招くなど、人材の積極的活用を図っている。

##### ②北岳全校登山の実践

###### i) ねらい

###### 【郷土学習の観点から】

・芦安地域が有する日本屈指の高峰「北岳」への登山体験および学習を通して、豊かな感性を養うとともに、山に親しみ、山を知り、山について考え、誇りを持って地域に関わっていこうとする心情を育む。

###### 【環境学習の観点から】

・北岳の豊かな自然についての学習を進めることで、動植物の生態系を中心に知識を深め、多様な生態系を学ぶ機会とするとともに、私たちに多くの恵みをもたらしていることを理解する。

###### 【自己表現活動の観点から】

・日本有数の自然を有する南アルプスの中心に位置する北岳について、世界中の人たちにとってのようになら分かりやすく伝えるかを考え、工夫して表現しようという態度を養う。

###### ii) 登山学習の経過

○北岳をよく知り登山しよう【地元登山支援者 清水さん】

北岳の開山の歴史や今回登るコースの概略、そして芦安地域に北岳をはじめとする南アルプスの多くの山があることを写真等交えて説明していただいた。

○南アルプスの自然環境の現状【環境省 中村自然保護官】

ライチョウやキタダケソウは氷河期の残存種でありとても貴重であることや、シカが標高2000m以上にまでやってきて草花を食べていることなど、現在南アルプスにおける自然環境の現状を説明していただいた。

○南アルプスとともに生きる。【芦安山岳館 塩沢館長】

山での山岳救助などの経験を通じて、登山には危険と伴うことや、自分自身が山との関わりから学んだこととお話いただいた。

○ユネスコエコパークとは？【市ユネスコエコパーク推進室 若松さん】

ユネスコエコパークの理念と南アルプスが登録をする意義、そして南アルプスにあるさまざまな絶滅危惧種について、特に私たちが持続可能な開発を進めながら自然と共存することの大切さを説明していただいた。

○環境啓発のポスターをつくろう

これまでの講演の内容をふまえて、南アルプスの自然環境保護を表現するメッセージを含めたポスターを制作した。

○環境啓発ポスターの発表会をしよう

生徒一人ひとり、南アルプスの環境についてポスターに描いたことを発表した。緑豊かな山々、たくさんの高山植物など、それぞれの視点から環境保護の大切さをメッセージにした。

○北岳に登った感動を表現しよう

本来は北岳登山後の学園祭で、生徒が登山で撮影した写真を発表する予定であったが、登山が九月に延期になったことにより、環境啓発ポスターの発表会を行った。

### iii) 北岳登山

北岳登山は南アルプス林道の土砂崩落等により、当初7月に実施する予定が9月に延期となった。学園祭後よりトレーニングを再開し、19、20日の1泊2日で実施した。本番当日は天候に恵まれて、2日目には無事山頂にたどり着くことができた。高山植物のシーズンは過ぎてしまったが、登山中は支援者の方にこの時期に咲いている草花について詳しく説明していただいた。また、シカの食害の様子をシカ柵など実際に見ることで感じることもできた。

しかし、北岳は生徒にとっても体力的に非常に厳しい登山であり、途中で体調不良を訴える生徒もいた。しかし、ザックを協力して持つなどして参加生徒は全員無事に登山を成功させることができた。山頂へは2日目の早朝に到達し、ご来光こそ拝むことはできなかったものの、みんなの思いを書き記した横断幕を山頂に掲げて写真を撮ることができたことは、生徒にとっても大きな達成感だったと思う。

### iv) 成果と課題

#### 【成果】

○全校登山の一連の活動を通じて、南アルプスという日本有数の山岳地域に私たちが暮らしていることに対する誇りや環境保護の大切さを感じ取ることができた。

○山に関わる様々な方との交流の機会を通じて、南アルプスの自然の奥深さや登山に対する幅広い見識を得ることができた。

○登山学習で感じた、ユネスコエコパークに登録された南アルプスの自然の雄大さや貴重な動植物などの保護の大切さをポスターにすることで、自分の思いや考えをメッセージとして表現することができた。

#### 【課題】

○登山の取り組みは6月ごろから約2ヶ月にわたって行われたが、どうしてもその後の行事などの関係から一過性のもになってしまうことがある。今年度は、南アルプスがユネスコエコパークに登録されるなど、新たな動きが起こっているため、環境に関する継続的な活動を実施していきたい。

○全校登山は総合の時間が主であるが、総合だけでなく様々な教科との関連や連携を図る

ことで、生徒にとっても登山や環境について身近に感じられると思う。

○全校登山の取り組みは教師が主体となつて行う場面が多い。登山学習を進める中で、生徒がもっと主体となる場面を多くすることで、生徒自らが環境などに対する問題意識を高めることができると思う。

(2) 学校林植樹

・本活動は、4月27日(日)の午後、授業参観やPTA理事会の後に生徒・保護者・教職員等で実施した。昨年度に引き続き、桜を生徒一人1本植えた。昨年度は全部染井吉野だったが、今年度は河津桜や富士桜も入れてた。昨年度植樹した桜は大雪や鹿の食害等乗り越え、13本中9本が健在であった。今年度は20本植えたので、学校林も少しずつ桜の木々が植えられていることが目に見えて分かるようになってきた。広葉樹が増えることで、山が豊かになることを願いたい。

(3) 夜叉神登山道清掃活動

・本活動は、6月20日(金)に、教員と生徒にて実施した。内容としては、夜叉神峠付近の環境美化活動(登山道のゴミ拾いと小屋の清掃)と自然愛護活動(小鳥の巣箱の設置)である。教員と生徒がチームを組み、3つのチームで分担して活動にあたった。特に、峠道のゴミについては、道を外れたところに多くのゴミがあった。年代としてもかなり古い空き缶や空き瓶が土の中に半分埋まっていたりして、生徒も時間いっぱいまで意欲的に活動していた。そして同時に、生徒の口からはどうしてこれほどまでにゴミを捨てるのかといった驚きや疑問の声が上がった。この活動を通じて、自然を自然のまま残すことの大切さと大変さなど、多くの気づきを得たものと思う。

5. おわりに

自然環境に対する問題意識は、机上の学習とともに実際に見て感じることにより、その意識を確かにすると考える。今回の登山学習を中心としたユネスコスクールの活動を契機にして、生徒の心に他者へのいたわりや自然に対する畏敬の念が醸成されることを期待したい。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他( )